

★2023(令和5)年度 松江北高校十大ニュース★

(注) この記事は北高教頭・双松会事務局長の石飛 憲先生に特別制作のご協力をいただきました。

▼R5年3月卒業生の進路

国公立大学に193名(既卒者を含む)が合格しました。難関10大学の合格者は20名でした。また、医学部医学科13名合格は昨年度の6名から倍増。高校生活の前半は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた学年でしたが、しっかりと結果を残してくれました。(詳細は北高HP>進路指導>進路状況からご覧になれます)

▼紅陵祭 「爆(はぜる)～Who will explode it?～」

9月には恒例の紅陵祭(学園祭)がありました。今年は4年ぶりにコロナ禍の影響を受けない通常開催をすることができました。1年生の合唱コンクール、2年生のルーム出し物等、それぞれがレベルの高いパフォーマンスを繰り上げました。特に3年生のページェントは、各ルームがそれぞれ関心を持った社会問題をテーマに、工夫を凝らしたりユーモアを交えたりして演じ、観客を魅了しました。



▼学校内の様々な場面でICT活用進む

生徒が入学時から一人が1台ずつICT端末を持ち、様々な場面で活用するようになって2年目になりました。授業中や家庭学習で活用が進んでいます。連絡事項もICT端末を活用して行い、生徒への連絡用サイト「校内掲示板」も運用を始めました。教員も研修をして活用の推進を図っています。



▼学習成果発表会をくにびきメッセで開催

12月にくにびきメッセで開催した学習成果発表会で普通科・理数科の課題研究の成果を発表しました。2年生普通科は、グループ探究から個人探究に変更し、一人ひとりの興味関心に基づいて学問的な探究を行いました。そのねらいは、教科の学習や大学での学びにつなげるためです。個人探究初年度でしたが、生徒はしっかりと成果を上げ、3月には鹿児島で行われる課題研究の全国発表会「高校生国際シンポジウム」に大会事務局による選考を突破し出場できることになりました。理数科は、課題研究の発表に加え、大学生との交流によるサイエンス・ステーション、小学生を対象とした理科教室キッズ・サイエンスも開催しました。



▼合唱部 全日本合唱コンクール全国大会 2年出場

10月に香川県で行われた全日本合唱コンクール全国大会に、合唱部が2年連続の出場を果たしました。全国大会の予選となる中国合唱コンクールにおいて、今年度は高等学校部門Aグループ金賞(第1位)・特別賞「山口県教育長賞」を受賞という快挙による出場権獲得でした。全国大会では銅賞という結果に終わりましたが、大舞台で見事な演奏を披露しました。



▼各種コンテスト・コンクールで大活躍

今年度は部活動単位での参加でない各種コンクールで華々しい活躍がありました。

- 全日本学生音楽コンクール全国大会 声楽部門 高校の部 第1位 3年 門脇早紀さん
※高校の部での全国1位は島根県で初めての快挙でした。
- 全国学芸サイエンスコンクール 読書感想文 特別賞金賞 2年 片岡瑞彩さん
- 国際理解・国際協力のための高校生的主張コンクール 出場
- 全国国際教育研究大会 高校生英語弁論大会 出場
- 科学の甲子園 県大会1位 全国大会 3年連続出場
- エコノミクス甲子園 県予選突破 全国大会出場
- しまね未来共創チャレンジ「みらチャレAWARD」を受賞



▼文化部 令和6年度全国総合文化祭出場権を続々獲得

文化部がめざましい活躍をしています。以下の部が今年の夏に岐阜県で行われる全国総文祭の参加を決めています。

- 箏曲部、書道部、放送部、美術部、写真部、自然科学部、百人一首かるた部



▼運動部 令和5年度全国高等学校総合体育大会での活躍

- 自転車競技 4Km 速度競走 準優勝 3年 寺本将輝さん
- ボート部 女子舵手つきクォドプル準々決勝進出
※ボート部は3月下旬開催の全国選抜大会にも出場します。
- 登山部 男子22位女子29位



▼TBSドラマ「VIVANT」監督 福澤克雄監督 講演会開催

12月6日(水)に、双松会の皆様のご尽力により大ヒットドラマ「VIVANT」の福澤克雄監督の講演会を開催することができました。有名ドラマ監督の来校に生徒たちは大いに興奮。講演の中では生徒との対話もあり大いに盛り上がりました。福澤監督の言葉から、生徒たちは「自分で自分の可能性の限界を決めることなく挑戦すること」の大切さを学びました。



▼起雲館の老朽化 雨漏り再び

1月3日(水)校舎に隣接する起雲館(卒業生会館)に大量の雨漏りが発生しました。昨年度も雨漏りがあり修繕を行いました。今回は屋上の防水シートが劣化により破損したことが原因でした。4階には大量の漏水があり、1階まで雨水が達するほどでした。屋上の防水シートの張り替え、電気系統の修繕が必要となり、3学期の間、補習科生は本校の教室での生活、いくつかの部は活動場所の変更、食堂は休業を余儀なくされました。今後も老朽化が進む起雲館の改修が必要です。